単元(題材名)	1. 対称な図形	
主領域／領域／内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 線対称な図形や点対称な図形の定義や性質がわかる。
	○ 線対称な図形や点対称な図形の残り半分を作図することができる。
	○ 多角形と線対称，点対称の関係がわかる。
思・判・表	○ 対称性という観点から既習の図形を見直し，図形を分類整理したり，図形の性質を説明したりできる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 対称性という観点から線対称や点対称な図形をみつけたり，その図形の性質を考えたりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 線対称な図形の対応する辺，角，点の意味や性質を理解している。
	○ 線対称な図形の性質を理解し，対応する辺，角，点をみつけている。
	○ 線対称な図形の性質を用いて，線対称な図形を作図している。
	○ 点対称な図形の対応する辺，角，点の意味や性質を理解している。
	○ 点対称な図形の性質を理解し，対応する辺，角，点をみつけている。
	○ 点対称な図形の性質を用いて，点対称な図形を作図している。
	○ 線対称な図形，点対称な図形を弁別している。
思・判・表	○ 対称性という観点から既習の図形を見直し，分類整理したり，図形の性質を説明したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 対称性という観点から図形の性質を考察し，図形のもつ美しさに着目しようとしている。
	○ さまざまな図形を分類整理する授業において，自分で決めた観点を説明したり，多様な観点から分類整理したりしている。
	○ 身の回りから，対称な図形をみつけている。

単元(題材名)	2. 文字と式	
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	

【到達目標】

知・技	☐ 数量の関係を x , y などの文字を使って式に表せることがわかる。
	☐ x , y などの文字を使った式から, x や y にあたる数量を求めることができる。
思・判・表	☐ 数量の関係を x , y などの文字を使って式に表すことができる。
	☐ x , y などの文字を使った式から, 数量の関係や問題場面などを考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ x , y などの文字を使った式を使って, 数量関係や問題場面を表し, 問題解決に用いようとする。

【評価規準】

知・技	☐ 数量の関係を x , y などの文字を使って式に表せることを理解している。
	☐ x , y などの文字を使った式から, x や y にあたる数量を求めている。
思・判・表	☐ 数量の関係を x , y などの文字を使って式に表している。
	☐ x , y などの文字を使った式から, 数量の関係や問題場面などを考えている。
	☐
主体的に学習に取り組む態度	☐ x , y などの文字を用いて式に表すと, 簡潔に表すことができるよさに気づき, 進んで用いている。
	☐ x , y などの文字を使った式から, 数量の関係や問題場面を進んで考えている。

単元(題材名)	3. 分数のかけ算
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算

【到達目標】

知・技	○ 分数×整数，分数÷整数の計算原理や計算のしかたを理解し，計算することができる。
	○ 分数の乗法で，計算の途中で約分する方法を理解し，計算することができる。
	○ 乗数が分数の場合でも，乗法の式に表せることがわかる。
	○ 分数×分数，整数×分数，3口の計算のしかたを理解し，計算することができる。
	○ 逆数の用語とその意味を理解し，求めることができる。
	○ 分数をかける乗法でも，乗数の大きさから積と被乗数の大小関係を判断することができる。
	○ 辺の長さが分数の場合でも，面積や体積の求積公式を使えることがわかる。
	○ 分数の場合でも，計算のきまりが成り立つことがわかる。
思・判・表	○ 分数×整数，分数÷整数の計算原理や計算のしかたを，分数の性質や既習の計算をもとに考えたり，説明したりすることができる。
	○ 乗数が分数の場合でも，乗法が用いられることを数直線図などを用いて考え，説明することができる。
	○ 乗数が分数の場合の計算のしかたを図をもとに考えることができる。
	○ 分数の乗法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 分数×整数，分数÷整数で，計算間違いをしない工夫を考えようとする。
	○ 乗数が分数の場合の計算のしかたを考え，考えたことについて友だちと話し合い，自分の考えを見直してまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 分数×整数，分数÷整数の計算原理や計算のしかたを理解し，計算している。
	○ 分数の乗法で，計算の途中で約分する方法を理解し，計算している。
	○ 乗数が分数の場合でも，乗法の式に表せることを数直線図などを用いて理解している。
	○ 分数×分数，整数×分数，3口の計算のしかたを理解し，計算している。
	○ 逆数の用語とその意味を理解し，求めている。
	○ 分数をかける乗法でも，乗数の大きさから積と被乗数の大小関係を理解している。
	○ 辺の長さが分数の場合でも，面積や体積の求積公式を使って求めている。
	○ 乗数が分数の場合でも，交換，結合，分配法則を使って工夫して計算している。
思・判・表	○ 分数×整数，分数÷整数の計算原理や計算のしかたを，分数の性質や既習の計算をもとに
	○ 乗数が分数の乗法の式になる根拠を，数直線図などを用いて考え，説明している。
	○ 乗数が分数の場合の計算のしかたを，図をもとに考え，説明している。
	○ 分数の乗法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 整数，小数の乗法と関連付けて，乗数が分数の計算方法を考え，その考えを友だちと話し合っている。
	○ 分数を整数に置き換えて考えたり，図などに表したりして計算方法を考えている。
	○ 乗数が分数の計算方法を考え，その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて，自分の考えを見直している。

単元(題材名)	4. 分数のわり算
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算

【到達目標】

知・技	○ 除数が分数の場合でも、除法の式に表せることがわかる。
	○ 分数÷分数，整数÷分数，3口の計算のしかたを理解し，計算することができる。
	○ 分数でわる除法で，除数の大きさから商と被除数の大小関係を判断することができる。
	○ 整数，小数と分数の混じった計算のしかたを考え，整数，小数を分数になおして計算することができる。
思・判・表	○ 除数が分数の場合でも，除法が用いられることを数直線図などを用いて考え，説明することができる。
	○ 除数が分数の場合の計算のしかたを図をもとに考えることができる。
	○ 分数の除法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 除数が分数の場合の計算のしかたを考え，考えたことについて友だちと話し合い，自分の考えを見直してまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 除数が分数の場合でも，除法の式に表せることを数直線図などを用いて理解している。
	○ 分数÷分数，整数÷分数，3口の計算のしかたを理解し，計算している。
	○ 分数でわる除法で，計算の途中で約分できるとき計算のしかたを理解している。
	○ 分数でわる除法で，除数の大きさから商と被除数の大小関係を理解している。
	○ 整数，小数と分数の混じった計算で，整数，小数を分数になおして計算している。
思・判・表	○ 除数が分数の除法の式になる根拠を，数直線図などを用いて考え，説明している。
	○ 除数が分数の場合の計算のしかたを，図をもとに考え，説明している。
	○ 分数の除法を使って，適用問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 整数，小数の除法と関連付けて，除数が分数の計算方法を考え，友だちと話し合っている。
	○ 分数を整数に置き換えて考えたり，図などに表したりして計算方法を考えている。
	○ 除数が分数の計算方法を考え，その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて，自分の考えを見直している。

単元(題材名)	分数の倍
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算

【到達目標】

知・技	○ 基準量や割合が分数で表されているとき、割合や比較量、基準量を分数の乗法・除法を適用して求めることができる。
思・判・表	○ 基準量や割合が分数で表されているとき、割合や比較量、基準量を分数の乗法・除法を適用して求めている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 基準量や割合が分数で表されているとき、割合や比較量、基準量を整数倍や小数倍をもとに考えて、求めようとしている。

【評価規準】

知・技	○ 基準量が分数で表されているとき、何倍かを分数の除法を用いて求めている。
	○ 基準量を分数倍した大きさを求めるときには、分数の乗法を用いて求めている。
	○ 割合が分数で表されているとき、基準量を分数の除法を用いて求めている。
思・判・表	○ 基準量が分数で表されているとき、何倍かを分数の除法を用いて求め方を考えている。
	○ 基準量を分数倍した大きさを求めるとき、分数の乗法を用いて求め方を考えている。
	○ 割合が分数で表されているとき、基準量を分数の除法を用いて求め方を考えている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 基準量や比較量が分数の場合の倍の意味を、既習の整数倍や小数倍をもとに考え、わかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 基準量や割合が分数で表されているとき、基準量や比較量の求め方を考え、その考えを友だちと話し合っている。

単元(題材名)	5. 比	
主領域/領域/内容の区分	C 変化と関係	

【到達目標】

知・技	○ 「比」の意味や表し方がわかる。
	○ 比の値の意味, 等しい比の意味を理解し, 等しい比をつくることができる。
	○ 「比を簡単にする」という意味を理解し, 整数, 小数, 分数で表された比を簡単にするすることができる。
思・判・表	○ 比の考え方をを用いる問題を解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 比の意味や表し方, 比を活用することを考え, それを日常生活に生かそうとする。

【評価規準】

知・技	○ 「比」の用語とその意味や表し方を理解している。
	○ 比の値の用語と意味を理解し, 比の値が等しいとき, 比は等しいことを理解している。
	○ $a : b$ の, a と b に同じ数をかけても, a と b を同じ数でわっても, 比は等しいことを理解している。
	○ できるだけ小さな整数の比にすることを, 「比を簡単にする」ということを理解している。
	○ 小数や分数で表された比は, 整数の比になおしてから簡単にすることを理解している。
思・判・表	○ 比の一方の量を求める方法を考え, 説明している。
	○ 全体の量のある大きさの比に分ける問題を考え, 説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2つの数量の割合を比で表すよさを理解し, 進んで比を用いて考えている。
	○ 日常生活の中から, 比を活用できる場面を進んで探している。

単元(題材名)	6. 拡大図と縮図	
主領域/領域/内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 拡大図, 縮図の用語とその意味がわかる。
	○ 拡大図, 縮図のかき方がわかり, かくことができる。
	○ 縮尺の用語とその意味がわかり, 縮図から実際の長さを求めることができる。
思・判・表	○ 拡大図, 縮図を利用して, 直接測れないものの長さや高さを求める方法を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 拡大図, 縮図のよさに気づき, どんな場面で利用されているか考え, それを日常生活に生かそうとする。

【評価規準】

知・技	○ 拡大図の用語とその意味を理解している。
	○ 縮図の用語とその意味を理解している。
	○ 三角形の拡大図と縮図を合同な三角形の作図をもとに作図している。
	○ 1点を中心にして, 三角形や四角形の拡大図と縮図を作図している。
	○ 縮尺の用語とその意味がわかり, 縮図から実際の長さを求めている。
思・判・表	○ 縮図をかいいて校舎の実際の高さを求めている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 拡大図・縮図が活用されている場面をみつけている。
	○ 地図の縮尺を知り, 地図上の長さから実際の長さを進んで求めている。

単元(題材名)	7. 円の面積	
主領域/領域/内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 計算による求積可能な図形に等積変形することによって、円の面積は計算で求められることがわかる。
	○ 求積公式を用いて、円の面積を求めることができる。
思・判・表	○ 計算による求積可能な図形に等積変形することによって、円の面積の求積公式の導き方を考えることができる。
	○ 円の面積の求積公式を使って、いろいろな図形の面積の求め方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 円の面積を、既習の図形と関連付けて考えたり、円を組み合わせた図形の面積を、いろいろな考え方で求めようとしていたりする。

【評価規準】

知・技	○ 円の面積の求積公式を理解している。
	○ 求積公式を用いて、円の面積を求めている。
思・判・表	○ 求積可能な図形に等積変形して、円の面積の求積公式の導き方を考え、説明している。
	○ 円の面積の求積公式を使って、いろいろな図形の面積の求め方を考え、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 円の面積の求積公式を、計算による求積可能な図形に等積変形をして考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 円を組み合わせた図形の面積を、いろいろな考え方で求めて、答えが同じになるかを確認している。

単元(題材名)	8. 角柱と円柱の体積	
主領域/領域/内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	☐ 底面積の用語とその意味がわかる。
	☐ 角柱, 円柱の体積は, 底面積×高さの公式で求められることがわかる。
	☐ 角柱, 円柱の体積を求積公式を用いて求めることができる。
思・判・表	☐ 角柱, 円柱の体積は, 底面積×高さの公式で求められることを説明できる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 柱体の体積の求積公式を, 既習の直方体の体積の求積公式をもとに考えたことを通して, 公式について見直そうとする。

【評価規準】

知・技	☐ 底面積の用語とその意味を理解している。
	☐ 角柱, 円柱の体積は, 底面積×高さ の公式で求められることを理解している。
	☐ 角柱, 円柱の体積を求積公式を用いて求めている。
思・判・表	☐ 角柱, 円柱の体積の求積公式を, 直方体の体積の求め方をもとにして考え, 説明している。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 柱体の体積の求積公式を, 既習の直方体の体積の求積公式をもとに考えている。
	☐ L字型の立体等を角柱とみれば, 角柱の体積の求積公式が使えることを知り, どの面を底面にすればよいかを考え, 進んで説明している。

単元(題材名)	9. およその面積と体積	
主領域/領域/内容の区分	B 図形	

【到達目標】

知・技	○ 身の回りにある形のおよその面積や容積，体積を，概形を捉えて求めることができる。
思・判・表	○ 身の回りにある形のおよその面積や容積，体積の求め方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ およその面積や容積の求め方を通して，身の回りにある形について，多様な図形の見方を働かせようとする。

【評価規準】

知・技	○ 身の回りにある形のおよその面積や容積，体積を，概形を捉えて求めている。
思・判・表	○ 身の回りにある形のおよその面積や容積，体積の求め方を概形を捉えて考え，説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにある形のおよその面積や容積，体積を，求積可能な図形に置き換えて進んで求めている。

単元(題材名)	10. 比例と反比例	
主領域／領域／内容の区分	C 変化と関係	

【到達目標】

知・技	☐ 比例する2つの数量の変化の割合がわかる。
	☐ 比例する2つの数量の関係を式やグラフに表し、その特徴がわかる。
	☐ 反比例について、その定義や性質がわかる。
	☐ 反比例する2つの数量の関係を式やグラフに表し、その特徴がわかる。
思・判・表	☐ 比例の関係に着目して、問題を解くことができる。
	☐ 比例する2つのグラフを読み取ることができる。
	☐ 反比例の関係に着目して、問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 比例や反比例について考え、考えたことについて友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

【評価規準】

知・技	☐ y が x に比例するとき、 x の値が5/3倍、1.5倍などになると、 y の値も5/3倍、1.5倍などになることを理解している。
	☐ y が x に比例するとき、 x と y の関係は、 $y \div x = \text{決まった数}$ 、 $y = \text{決まった数} \times x$ の式で表せることを理解している。
	☐ 比例する2つの数量の関係をグラフに表している。
	☐ 比例の関係に着目することで、問題が解決できる場合があることを理解している。
	☐ 反比例の用語とその定義、性質を理解している。
	☐ y が x に反比例するとき、 x と y の関係は、 $x \times y = \text{決まった数}$ 、 $y = \text{決まった数} \div x$ の式で表せることを理解している。
	☐ 反比例する2つの数量の関係をグラフに表している。
思・判・表	☐ 比例の関係に着目して、問題を解いている。
	☐ 比例する2つのグラフを読み取っている。
	☐ 反比例の関係に着目して、問題を解いている。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 身の回りの伴って変わる2つの量の中から、比例の関係にあるものを見つけている。
	☐ 身の回りの伴って変わる2つの量の中から、反比例の関係にあるものを見つけている。
	☐ 比例や反比例のグラフから、気づいたことを友だちと話し合っている。

単元(題材名)	11. 並べ方と組み合わせ方	
主領域/領域/内容の区分	D データの活用	

【到達目標】

知・技	○ 起こり得る場合を落ちや重なりがないように調べるには、図や表などにかいて調べるとよいことがわかる。
	○ 並べ方を図や表を用いて落ちや重なりがないように調べ、全部で何通りあるかを求めることができる。
	○ 組み合わせ方を図や表を用いて落ちや重なりがないように調べ、全部で何通りあるかを求めることができる。
思・判・表	○ 起こり得る場合の数を落ちや重なりがないように、図や表を適切に用いて、順序良く筋道立てて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 起こり得る場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法を考え、考えたことについて友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ いくつかのものを順番に並べるとき、並べ方は全部で何通りあるかを求めている。
	○ いくつかのものから2つ選んで並べるとき、並べ方は全部で何通りあるかを求めている。
	○ メダルを何回か投げたときの、表と裏の出方が全部で何通りあるかを考え、求めている。
	○ いくつかのものの中から順番に関係なく、2つを選んだときの組み合わせ方の総数を求めている。
	○ いくつかのものの中から、その数より1つ少ない数を選んだときの組み合わせ方の総数を求めている。
思・判・表	○ 起こり得る場合の数を落ちや重なりがないように、図や表を適切に用いて考え、説明している。
	○ 起こり得る場合の数を落ちや重なりがないように、順序よく筋道立てて考え、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 起こり得る場合の数を、1つのものを固定して、落ちや重なりなく調べる方法を友だちと話し合っている。
	○ 起こり得る場合の数を、進んで図や表などに整理して表すことによって、落ちや重なりなく調べている。

単元(題材名)	12. データの調べ方	
主領域/領域/内容の区分	D データの活用	

【到達目標】

知・技	○ 代表値としての、平均値、中央値、最頻値の用語とその意味がわかる。
	○ ドットプロットの用語とその意味を知り、データをドットプロットに表したり、ドットプロットから中央値、最頻値を求めたりできる。
	○ データを度数分布表に表したり、読んだりできる。
	○ 度数分布表を柱状グラフに表し、データ全体の特徴を読み取ることができる。
	○ あるテーマのいろいろなグラフ等から、その特徴を読み取ることができる。
思・判・表	○ 度数分布表や柱状グラフを見て、データの傾向や特徴を捉え、説明することができる。
	○ 複数のデータの特徴を、統計的な考察をして比べ、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 統計的な処理について考え、考えたことについて友だちと話し合い、結論が妥当かどうか見直そうとする。

【評価規準】

知・技	○ 代表値として、平均値、中央値、最頻値の用語とその意味を理解している。
	○ ドットプロットの用語とその意味を知り、データをドットプロットに表している。
	○ ドットプロットから中央値、最頻値を求めている。
	○ データを度数分布表や柱状グラフに表し、データ全体の特徴を読み取っている。
	○ 男女別年齢別の人口のグラフ等から、特徴を読み取っている。
思・判・表	○ 度数分布表や柱状グラフを見て、データの傾向や特徴を捉え、説明している。
	○ 複数のデータの特徴を、統計的な考察をして比べ、説明している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 度数分布表や柱状グラフから、データ全体の特徴を分析し、結論をわかりやすく説明する工夫をしている。
	○ 身の回りの事象の問題解決を、統計的な問題解決方法を進んで取り入れて取り組んでいる。

単元(題材名)	13. 算数の学習をしあげよう [算数のしあげ]	
主領域/領域/内容の区分	A~D	

【到達目標】

知・技	○ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解することができる。
	○ 日常の事象を数理的に処理することができる。
思・判・表	○ 日常の事象を数理的にとらえ見通しをもち筋道を立てて考察することができる。
	○ 基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統計的・発展的に考察することができる。
	○ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする。
	○ 算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解している。
	○ 日常の事象を数理的に処理している。
思・判・表	○ 日常の事象を数理的にとらえ見通しをもち筋道を立てて考察している。
	○ 基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統計的・発展的に考察している。
	○ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしている。
	○ 算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。

単元(題材名)	算数卒業旅行	
主領域／領域／内容の区分	A～D	

【到達目標】

知・技	
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 中学校の数学の内容にふれるを通して、算数。数学に関する興味を広げる。
	☐ 他の国の算数に興味をもち、算数・数学に関する興味を広げる。
	☐ 和算にふれるを通して、算数・数学に関する興味を広げる。
	☐ クイズやパズルを通して、考える楽しさや算数のもつ面白さにふれる。

【評価規準】

知・技	
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 中学校の数学に関心をもち、取り組もうとしている。
	☐ 外国の算数に関することに興味をもち、体験したり、調べたりしようとしている。
	☐ 昔の人たちの取り組んでいた算数の問題に関心をもち、取り組もうとしている。
	☐ クイズやパズルに積極的に取り組もうとしている。